

新十日町病院・松代病院検討結果報告書（案）
【たたき台】

平成20年9月
「十日町病院等の医療提供体制に関する検討会」

はじめに

当検討会は、平成19年8月29日に開催された「十日町病院等の医療提供体制に関する協議会()」(以下、「協議会」という。)における協議の結果として、「十日町・中魚沼地域(栄村の一部を含む)の医療提供体制の中で、十日町病院や松代病院が今後、果たすべき役割について、専門的な立場から検討し、協議会の協議に資する提言を行う」ことを目的に設置されたものである。

これまで、平成19年10月30日以来、延べ7回の審議を行い、「十日町病院・松代病院に必要な医療機能・規模等に関する一定の結論」が得られたことから、ここに検討結果を報告書として取りまとめたものである。

今後も引き続き、十日町地域に必要な質の高い医療を効率的・継続的に提供できる体制を確保することが重要であり、このため、新たな整備構想のもと、十日町病院と松代病院が、地域の住民に信頼される医療機関であり続けることを期待するとともに、この報告書が、十日町地域の医療充実のための指針となることを願うものである。

十日町病院等の医療提供体制に関する協議会構成メンバー

十日町市：市長、副市長 他

新潟県：病院局長、病院局業務課長 他

新十日町病院

1 診療機能等

(1) 地域医療の確保・充実

役割

救急医療においては、患者の症状に応じた治療・紹介機能を確保した上で、地域の中核的病院が具備すべき地域完結型医療を基本に提供体制を構築する必要がある。

そのためには、原則として、入院機能は急性期に特化し在院日数を短縮、外来機能は専門外来に特化するとともに、周辺医療機関等との紹介・逆紹介ネットワークを形成する必要がある。

病病・病診連携

急性期入院機能と専門外来機能に医療機能を特化した病院とするため、院内に地域連携センターを設置する必要がある。

さらに、病病（松代病院、津南病院、中条病院、中条第二病院、上村病院 等）・病診連携において、患者の病態に応じた円滑な移動環境を確保するため、地域連携パスを整備する必要がある。

また、現在も実施している周辺医療機関からの高度医療機器を使用する検査依頼についても、対応を継続する必要がある。

(2) 腎不全医療（透析）

地域の中核的病院として、地域内の慢性期人工透析実施医療機関との連携のもと、透析患者の急変時や入院時に対応できる、急性期人工透析機能を整備する必要がある。

(3) リハビリセンター

地域の中核的病院として、治癒後のQOL（Quality of Life）の向上のため、リハビリセンター（仮称）を設置し、急性期（亜急性期を含む）リハビリテーション機能を整備する必要がある。

(4) 高度先進医療

がん医療

地域の中核的病院として、他地域の拠点病院との連携のもと、地域のがん治療・緩和センター的機能を整備する必要がある。

周産期医療

地域の中核的病院として、産婦人科と小児科の充実に努めつつ、他地域の拠点病院が有する周産期母子センターとの連携体制のもと、地域の周産期医療機能を整備する必要がある。

2 施設規模等

(1) 診療科

地域の中核的病院として、現在の診療科に加え、3診療科（総合診療科、リハビリテーション科、漢方内科）を新設する必要がある。

現在の診療科：14科

内科、神経内科、消化器科、心療内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科

新設する診療科：3科

ア 総合診療科

患者の医療・健康問題に心と身体の両面から総合的に対処することが求められており、また、臨床研修医教育のためにも新設する必要がある。

イ リハビリテーション科

患者の治癒後のQOL（Quality of Life）の向上が求められており、施術後早期のリハビリテーションに対応するために新設する必要がある。

ウ 漢方内科

地元出身漢方医（江戸時代の名医）にちなむとともに、病院の特色とするために新設する必要がある。

(2) 病床数

中長期的に地域内の患者数は現在と同程度と見込まれることから、地域の中核的病院として、新設する3診療科（総合診療科、リハビリテーション科、漢方内科）を含め、275床程度を確保する必要がある。

(3) 病院施設・設備、施設面積、付帯施設、用地面積、建設場所

検討結果報告書を踏まえ協議会（県、十日町市）で策定する整備基本計画の中で決定すべき事柄である。

ただし、患者にとって望ましい療養環境、職員にとって魅力ある勤務環境とするため、効果的な敷地利用（駐車場や緑地の確保等）、利便施設（コンビニ等）誘致や院内保育所の設置等を目指す必要がある。

また、建設場所については、患者の利便性やインフラの整備状況等を総合的に判断した上で、最適地とすることが望まれる。

3 その他施設

全国的なへき地病院等の看護師不足の現状に鑑み、地元自治体が主体となって、看護師等養成所（看護大学、看護専門学校等）の誘致を検討する必要がある。

4 へき地医療

地元自治体、地元医師会及び地元保健福祉施設が一体となって実施するへき地医療について、地域の中核病院として支援を検討する必要がある。

5 在宅医療

地元自治体、地元医師会及び地元保健福祉施設が一体となって実施する在宅医療（訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション等）について、地域の中核病院として支援を検討する必要がある。

6 救急医療

地域の中核的病院として、病院群輪番制に参加（二次救急医療体制を堅持）する必要がある。

また、地元自治体と地元医師会が主体となって24時間一次応急診療所の併設について検討するとともに、地元自治体において救急搬送機能の強化を図る必要がある。

さらに、将来的なワークステーションの併設やドクターカーの保有を可能とするため、施設内に関連スペースを確保する必要がある。

なお、ヘリポートの設置については、必要性の有無も含め、協議会（県、十日町市）での整備基本計画策定作業の中で検討することが望まれる。

7 災害関係

地域災害支援拠点病院として、十日町圏域内の地域災害医療センターとしての機能を充実する必要がある。

また、災害が発生した市町村や医療機関等からの支援要請前後における迅速な対応を可能とするため、引き続き、災害医療支援チーム（DMAT）を保有する必要がある。

8 保健との連携

へき地医療、在宅医療、福祉と一体に考えた保健との連携を推進するため、地元自治体が主体となって、地域保健センターの併設を検討する必要がある。

また、十日町圏域外の人を呼び込むため、魅力ある内容（温泉療養、森林浴セラピー等）を持つ人間ドックの実施について、引き続き、検討する必要がある。

9 福祉との連携

社会福祉施設入居者の高齢化の進展に対応し、退院後のケア体制の充実に向け、連携強化を図る必要がある。

なお、厚生労働省が社会的入院や療養病床の削減を進めていることから、地元自治体が主体となって、受け皿となる社会福祉施設の増設・増床策を検討する必要がある。

10 臨床研修指定病院

医学部の大幅な定員増が見込めない中では、地域医療に従事する医師を地域で自ら育成することが重要であり、そのために、卒後早期にへき地を含む地域における医療サービスの意義を理解してもらうことが肝心であることから、管理型臨床研修病院として、思い切った予算・人事配置（指導体制）のもと、全国レベルでの魅力あるカリキュラムに基づいた研修を実施する必要がある。

また、多くの研修医に来てもらうためには、魅力あるプログラムの提供は勿論のこと、へき地医療とも関連付けた地域医療研修において関東圏の大学と連携したり、海外研修等を取り入れた魅力ある病院とするとともに、研修環境（研修医用アパート等）の整備に努める必要がある。

11 病院の経営形態等

経営母体には、当検討会が取りまとめた医療提供体制を尊重し、着実に地域内の医療機関等との役割分担・連携に基づく医療提供を実行できる医療機関であり、かつ、採算が取れない赤字診療科でも縮小等を行うことなく、病院トータルで収支が合えば可とするような医療の公共性を重視した医療機関であることが望まれる。

12 医療スタッフの確保

現有医師等の確保を最優先課題とし、関東圏を含む複数の大学との関係を保ちつつ、臨床研修の充実や魅力ある勤務・生活環境の提供等の他病院とは異なる医師等の優遇策

を講じながら、大学医局等からの医師派遣等を通じた確保を図る必要がある。

13 地元自治体の役割分担

地元住民や自治体を中心となって、地域全体で医師等の医療スタッフが来たくなるような環境を作ることが必要であり、地元自治体の役割としては、病院施設周辺部のまちづくり（地域資源の活用を含む）、病院の跡地利用（病院が移転する場合）、24時間一次応急診療所の併設（地元医師会と連携）及び公共交通機関の確保等が考えられる。

14 財政支援

国（総務省）において、病院の公設民営化に係る地方財政支援措置の充実が検討されるなど、公設民営化後も、現在と同程度の国等の補助制度や地方交付税措置の適用が期待できる。

松代病院

1 診療機能等

(1) 地域医療の確保・充実

役割

十日町病院との連携のもと、公的な福祉活動・保健活動と協働できる包括的（医療・保健・福祉）なセンター機能を持つ地域医療病院としての機能を担う必要がある。

病病・病診連携

院内に地域連携専任者を配置して連携機能強化を図るとともに、病病（十日町病院、津南病院、中条病院、中条第二病院、上村病院 等）・病診連携において、患者の病態に応じた円滑な移動環境を確保するため、地域連携パスを整備する必要がある。

2 施設規模等

(1) 診療科

地域医療病院として、現在の診療科に加え、1診療科（リハビリテーション科）を新設する必要がある。

現在の診療科：5科

内科、整形外科、泌尿器科、眼科、精神科

新設する診療科

リハビリテーション科

急性期に機能特化する新十日町病院との連携のもと、患者の治癒後のQOL（Quality of Life）の向上を目的として、亜急性期以降のリハビリテーションに対応するために新設する必要がある。

(2) 病床数

社会福祉施設等からの患者や看取りへの対応のため、55床程度を確保する必要がある。

3 へき地医療

へき地の医師不足状況に鑑み、松之山診療所や室野診療所が実施するへき地医療につ

いて、地域医療病院として支援に努める必要がある。

4 在宅医療

地元自治体、地元医師会及び地元保健福祉施設が一体となって実施する在宅医療（訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション等）について、地域医療病院として実施、または、支援の充実に努める必要がある。

5 救急医療

地域医療病院として、病院群輪番制に参加（二次救急医療体制を堅持）する必要がある。

6 保健との連携

へき地医療、在宅医療、福祉と一体に考えた保健との連携を推進するため、地元自治体が主体となって、地域保健センターの併設を検討する必要がある。

7 福祉との連携

退院後のケア体制充実のため、社会福祉施設等とのケアカンファレンス体制を構築する等、連携・支援を行う必要がある。

なお、厚生労働省が社会的入院や療養病床の削減を進めていることから、地元自治体が主体となって、受け皿となる社会福祉施設の増設・増床策を検討する必要がある。

8 臨床研修指定病院

医学部の大幅な定員増が見込めない中では、地域医療に従事する医師を地域で自ら育成することが重要であり、そのために、卒後早期にへき地を含む地域における医療サービスの意義を理解してもらうことが肝心であることから、管理型臨床研修病院（十日町病院、新潟大学医歯大総合病院等）に協力して研修医を確保する必要がある。

また、多くの研修医に来てもらうためには、魅力あるプログラムの提供に努める必要がある。

9 病院の経営形態等

地域住民等、幅広い関係者との意見交換を踏まえて最適な運営形態を決定することが望まれる。

10 医療スタッフの確保

現有医師等の確保を最優先課題とし、臨床研修の充実や魅力ある勤務・生活環境づくり等を行いながら、十日町病院（へき地医療支援病院）との連携や大学医局等からの医師派遣等を通じた確保を図る必要がある。

11 地元自治体の役割分担

地元住民や自治体を中心となって、地域全体で医師等の医療スタッフが来たくなるような環境を作ることが必要であり、地元自治体の役割としては、病院施設周辺部のまちづくり（地域資源の活用を含む）や公共交通機関の確保等が考えられる。

12 財政支援

国（総務省）において、病院の公設民営化に係る地方財政支援措置の充実が検討されるなど、経営形態の如何にかかわらず、現在と同程度の国等の補助制度や地方交付税措置の適用が期待できる。

参考

十日町病院等の医療提供体制に関する検討会構成メンバー

(区分別、五十音順)

区 分	氏 名	備考(所属団体等)
医療関係者(4名)	いとう まさかず 伊藤 正一【座長】	新潟県医師会(参与)
	かみむら こういち 上村 晃一	上村病院(理事長)
	すが りょういち 須賀 良一	中条病院・中条第二病院(統括院長)
	たかはし しゅういち 高橋 修一	十日町市中魚沼郡医師会(顧問)
介護関係者(1名)	はせがわ せいいち 長谷川 誠一	ケアセンター三好園しんざ(理事)
地元住民(4名)	あべ ようすけ 阿部 洋輔	生命が守れる病院をつくる会(事務局長)
	いぐち かずこ 井口 カズ子	前十日町市教育長
	おしき あつこ 押木 敦子	川西地域協議会委員
	さとう さだゆき 佐藤 定行	地域医療のあり方検討会(会長)
町(1名)	たきざわ ひでお 滝沢 秀雄	津南町(副町長)
市(1名)	おおしま さだじ 大島 貞二	十日町市(副市長)
県(5名)	すずき よしゆき 鈴木 善幸	県立松代病院(院長)
	すどう ゆうえつ 須藤 祐悦	十日町保健所(所長)
	せきかわ けんじ 関川 憲司	病院局業務課(課長)
	つかだ よしひさ 塚田 芳久	県立十日町病院(院長)
	はにゅう としあき 羽入 利昭	福祉保健部医薬国保課(課長)

審議経過

第1回 (H19.10.30)	座長の選出、今後の進め方
第2回 (H20.1.22)	十日町地域・中魚沼地域(栄村の一部を含む)における医療内容等の把握・分析
第3回 (H20.3.26)	十日町病院、松代病院の医療機能の把握・分析
第4回 (H20.6.23)	十日町病院、松代病院における課題の整理・確認等
第5回 (H20.7.30)	十日町病院、松代病院のあり方
第6回 (H20.9.5)	新十日町病院・松代病院検討結果報告書案：たたき台
第7回 (H20.9.下)	新十日町病院・松代病院検討結果報告書案

資料

- 1 十日町病院等の医療提供体制に関する協議の進め方について
- 2 十日町病院の概要
- 3 松代病院の概要
- 4 十日町圏域(十日町地区)における病院・診療所の配置状況
- 5 十日町圏域(十日町地区外・津南町・栄村)における病院・診療所の配置状況